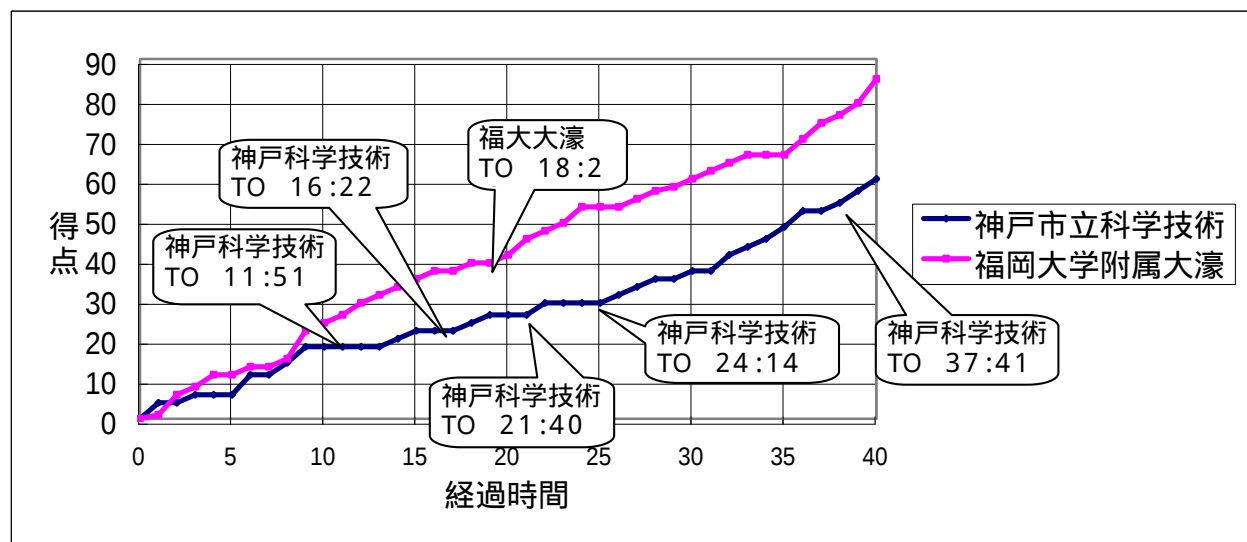


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	M2	11:40	男子準々決勝
期日	2007年(平成19年)8月1日(水)	神戸市立科学技術	60	85 福岡大学附属大濠
会場	唐津市文化体育館	兵庫	●	○ 福岡

主審 山崎 人志 副審 倉口 勉



神戸市立科学技術

	No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
	4	道原 紀晃	2	0	0	2	4
○	5	黒川 拓馬	9	3	0	0	3
○	6	浦 栄作	24	0	12	0	3
○	7	宮下 達也	12	0	5	2	4
○	8	石坪 佑規	3	0	1	1	0
	9	小林 健太郎	7	1	2	0	0
	10	荻野 直人	0	0	0	0	0
	11	山本 拓矢	0	0	0	0	0
	12	森田 暁彦	0	0	0	0	1
	13	吉田 風太	3	0	0	3	1
	14	橋ノ口 海	0	0	0	0	0
	15	水鳥 匠悟	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		加藤 明広					
		合計	60	4	20	8	

福岡大学附属大濠

	No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
	4	松谷 直人	10	0	4	2	1
○	5	崎濱 成矢	2	0	1	0	1
○	6	織田 秀司	10	0	5	0	4
○	7	山口 堯彰	25	2	7	5	4
	8	大下内 仁	2	0	1	0	0
○	9	久保田 遼	24	0	11	2	1
	10	岸 翔太郎	0	0	0	0	0
	11	野崎 圭佑	10	1	2	3	0
	12	大塚 勇人	2	0	1	0	4
	13	二宮 弘憲	0	0	0	0	0
	14	矢嶋 瞭	0	0	0	0	0
	15	猪原 大輔	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		田中 国明					
		合計	85	3	32	12	

○はスターター (はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

躍進が期待される近畿大会準優勝の神戸科学技術と順当に勝ち上がり全国制覇を狙う福大大濠との準々決勝。総合的に優る福大大濠がインサイドを制し、85対60で勝利しベスト4に進出した。第1P、両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。神戸は#7宮下、#6浦のシュートで先制。一方、大濠は#6織田の速攻、#7山口の3Pなどで得点を重ねる。神戸はパスミスが多く24対18大濠リードで第2Pへ。第2P、大濠はオフェンスリバウンドも制し、#9久保田のリバウンドシュート、#11野崎のミドルシュートなどで点差を広げる。神戸は2分間ノーゴールで18対29となった所でタイムアウト。#9小林のゴール下シュート、#7宮下のリバウンドシュートなどで得点する。41対26大濠リードで後半へ。第3P、大濠は#9久保田のリバウンドシュート、#4松谷のアシストによる#7山口のゴール下シュートなどであっという間に点差を広げる。神戸は、やっと#9小林の3Pで得点する。#6浦のシュートで追い上げをはかるが、60対37大濠リードで第4Pへ。第4P、神戸はディフェンスをオールコートゾーンプレスに変え活路を見出そうとするが、#4松谷のゴール下シュート、#12大塚の3Pや速攻が効果的に決まり、85対60の25点差で大濠が勝利した。

記載者 碓 啓二 (所属) 佐賀県バスケットボール協会